

# R6 年度 前期学校評価アンケート結果

平素は、本校教育にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。さて、7月に実施いたしました、前期学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。今年度も、「児童」「保護者・地域」「教職員」を対象にアンケートを実施しました。このアンケート結果は、特徴的な項目をピックアップして分析したものを掲載しております。

## 【生活面】児童・保護者 実現度ベスト5

1位から3位までは児童・保護者とも同じ項目になっています。



児 童		
1位 (保2位)	友達に親切にしていますか。	96. 3%
2位 (保3位)	交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校したり、地域で過ごしたりしていますか。	96. 1%
3位 (保1位)	やってはいけないことは、しないようにしていますか。	94. 9%
4位 (保8位)	「いじめをしない」「いじめを見のがさない」ができますか。	94. 7%
5位 (保4位)	相手の気持ちを考えて「ありがとうございます」「ごめんなさい」など、自分の気持ちを伝えられていますか。	94. 3%

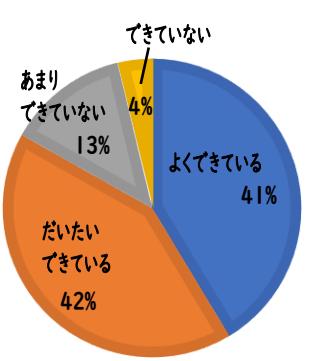
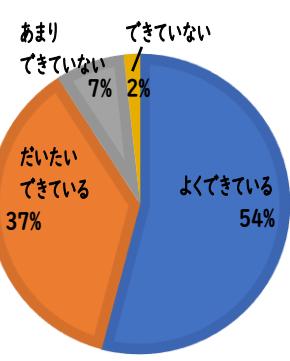
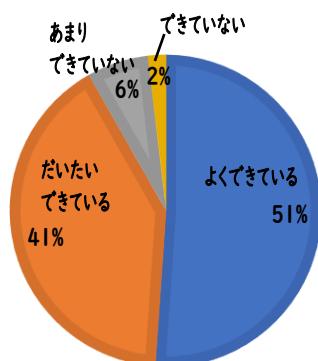
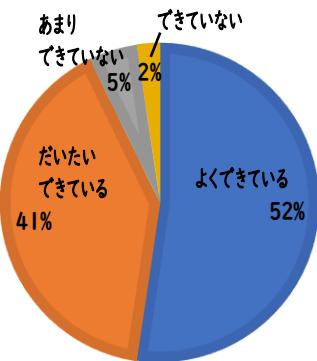
保 護 者		
1位 (児3位)	お子たちがやってはいけないことはしないように働きかけていますか。	97. 7%
2位 (児1位)	お子たちが友達に対して親切な対応ができるように声をかけたりしていますか。	95. 8%
3位 (児2位)	お子たちが安全に気を付けて登下校したり、放課後に地域で過ごせるように働きかけたりしていますか。	93. 7%
4位 (児5位)	お子たちが相手の気持ちを考えて、礼儀正しい行動をできるように働きかけていますか。	96. 2%
5位 (児6位)	お子たちが約束した時間を守ることができるように働きかけていますか。	96. 0%

### 【児童・保護者の実現度を比較して】

- 児童と保護者のアンケートを集計し、実現度の高い順に5つの項目を比較してみると、ほとんど同じ項目において「よくできている」か「だいたいできている」のような肯定的回答が多いことがわかりました。このことから、ご家庭で子どもたちに働きかけていただいたり、声をかけたりしていただいていることが、子どもたちの言動に大きく影響していると考えられます。今後も、家庭と学校が同じ思いで子どもたちを育していくことが大切だと感じました。
- 交通安全に関する項目では、児童の96. 1%の子どもたちが、できていると回答しています。嵯峨野小学校では、見守り隊の方をはじめ、PTA やスクールガードリーダーの方々が登下校時などの、安全パトロールや信号や交差点での見守りをしてくださっています。そのような活動も子どもたちの安心に繋がり、安全に気を付けながら過ごすきっかけになっているのではないかと考えています。また、「廊下は歩いて右側通行」や「教室・校内での安全な過ごし方」など、みんなが安心安全に学校生活を送る為にはどうすれば良いのかを折に触れて学習しています。
- 児童のアンケート結果1位は、『友達に親切にしていますか。』という項目でした。今年度も毎月の全校集会等を利用して、人権の取組を行っています。先月は、「人が嫌なおもいをするような言葉はなぜ使つたらだめなのか」ということについて考えました。子どもたちは、「自分がされて嫌なことは友達にしない」や「言葉は暴力にもなる」など、自分事として捉え、考えを広げたり深めたりしていました。これからも、自分も友達も大切にできる嵯峨野小学校の子どもであります。

## 【学習面】児童 実現度ベスト3

「みんながわかる授業」を目指して  
授業改善を進めていきます。



授業の内容は、理解できていますか。

学習のめあてを意識して、自分に合った方法で学習を進めていますか。

他者を尊重し自分の考えを伝える力

課題を発見する力

学習したことから、更に疑問や興味をもったことについて考えたり調べたりしていますか。

今年度、嵯峨野小学校では、「学習を調整する力」・「他者を尊重し自分の考えを伝える力」・「課題を発見する力」に重点をおいて児童の資質・能力を育成しようと取り組んでいます。教職員は、あらゆる教育活動の場で、これらの力を育成するための工夫を意図的に行ったり、個別に声掛けをしたりしています。今回の児童アンケートを見てみると、ほとんどの項目で肯定的な回答が90%以上あり、子どもたちが自分に合った方法で学習を進め、友達と交流しながら、自分の学びを広げたり深めたりすることを意識していることがわかりました。しかし、「学習したことから、更に疑問や興味をもったことについて考えたり調べたりしていますか」という項目では、肯定的な回答が80%程にとどまっていました。これは、生活の中にある様々な事象に疑問をもって、各教科で培った力（教科の見方・考え方）を生かしているかを問う項目です。子どもたちが自分に合った学び方を自己選択・決定し、他者と共に主体的に学び続けることのできる授業を繰り返し実践していくことで、「課題を発見する力」も培われるのではないかと考えています。

## 学校評価アンケートの分析を終えて

今回のアンケートを通して、どの項目においてもおおむね肯定的な意見であると感じました。しかし、教職員からはチャイムで動くことはだいたいできているが、あいさつをしても返ってこない時があるという意見もありました。「あいさつは心が通う第一歩」とも言われています。みんながあいさつの大切さに気付き、気持ちのよいあいさつができるよう取組を進めています。

また、今年度導入した「学年担当制」について20%、「すぐーる配信」については15%の保護者や児童が「困っていることがある」と回答していました。保護者の方からいただいたご意見の中には、「学年担当制」については、「伝えたことが、学年で共有されているのか不安」や「担任がいた方が安心する」というご意見もありました。嵯峨野小学校ではたくさんの大人と関わりながら、一人一人の子どもを大切に育てることを目指しています。子どもの情報を共有する時間を増やし、いろいろな大人が多方面からサポートできる体制を更に整えていきます。「すぐーる配信」については、「連絡帳機能をつけてほしい」や「お便りの字が小さく感じる」などのご意見がありました。学校だよりについては原本のサイズを大きくする等、改善を加えました。今回いただいたご意見を参考に、今後も最善の方法を模索しながら検討を重ねていきたいと考えています。

## 【学校運営委員会の方々から】

学年担当制の実施においては、「良い点や検討すべき点が見え始めてきたが、まだ始めたばかりなので、試行錯誤しながら続けていく方向でよいのではないか。」や、資質能力の育成においては、「これから時代を生き抜くために、『自分で判断する力』や『課題を発見する力』が必要になってくる。アンケートの数値に左右されず根気よく子どもたちを育ててほしい。」というようなご意見をいただきました。これからも大人が良い見本となり、地域・保護者・学校が意見交換しながら、協力して子どもたちの成長を支えていくようご示唆いただきました。